

2014年度 成蹊大学法科大学院入学試験 憲法

【問題1】 以下の問いにそれぞれ7行以内で答えよ。(配点:40点)

- (1) いわゆる独立行政委員会の合憲性について、具体例を挙げた上で、考えられる複数の見解の根拠とその妥当性について、説明せよ。
- (2) 「人権保障の国際化」とよばれる現象につき、具体例を挙げた上で、その憲法上の意義を説明せよ。
- (3) サラリーマン税金訴訟最高裁判決(最高裁昭和60年3月27日大法廷判決)で示された、給与所得者に対する課税制度の合憲性に関する判断を説明せよ。
- (4) 国会議員が法案審議に際しその発言によって私人の名誉を毀損した場合の国および国会議員個人の損害賠償責任について、最高裁判所の判決に言及した上で、その憲法上の問題点を説明せよ。

【問題2】 以下の文章を読んで、設問に答えよ。(配点:60点)

A 県青少年健全育成条例は、「著しく性的感情を刺激し、又は著しく残忍性を助長するため、青少年の健全な育成を阻害するおそれがあると認められる図書類」として県知事が指定したもの(以下「指定図書類」)を、「青少年」(同条例が「18歳未満の者」と定義する)に有償または無償で頒布してはならないと規定した。同条例は、A県内で実行された違反行為の行為者に対する罰金刑を定め、「図書類」とは「書籍、雑誌、絵画、写真及び映写用フィルム、録音盤、磁気テープ、磁気ディスク、光ディスク、光磁気ディスクその他の映像又は音声記録された物をいう」と定義した。また、指定図書類については、個別の指定に代え、あらかじめ県知事が規則で定めるところにより包括的に指定することができることとされ、これを受けたA県青少年健全育成条例施行規則は、「犯罪若しくは自然災害の被害者を被写体とした実写の画像、又はこれらの者を描写した漫画、アニメーションその他の画像が、その内容の過半を占めるため、青少年の健全な育成を著しく阻害するおそれがあることが明白であると認められる図書類」が、指定図書類に該当すると規定した。

ゲームソフトの製造・販売を業とするXは、対戦型ゲーム『神の裁き』を発売した。その内容は以下のとおりである。オフense側のプレイヤーは、一定のマグニチュードの制約内で1回又は複数回の地震を発生させ、震源地、規模、発生時刻などを任意に設定し、都市直下型地震やプレート型地震などに起因する火災、津波などが生じさせる死傷者数の最大化を目標とする。ディフェンス側のプレイヤーは、一定の予算の範囲内で地震対策を講じ、都市防災対策、高波対策などの選択肢に予算を任意に配分し、死傷者数の最小化を目標とする。気象条件はソフトがランダムに設定する。相互に攻守を数回繰り返し、相手により多くの損害を生じさせたプレイヤーが勝者となる。地震が発生すると、被害者が津波に流されたり火災によって死亡したりするアニメーション(実写ではないがリアルな映像である)と、それに対応した人びとの悲鳴などの音声再生される。また、パッケージの前面には瓦礫の下で血まみれになった被害者の絵が大きく描かれ、側面下部には小さな文字で、「このゲームソフトは防災対策の重要性和命の尊さを訴えるためのものです。犠牲者数を最小限に食い止めたプレイヤーが勝ちになります。」と印字されていた。

Xが自己所有の店舗で上記ソフトの光ディスク版パッケージ製品20個を18歳未満の者20名に有償で販売したところ、当該製品が上記規則の包括指定類型に含まれ、当該行為が上記条例違反に該当するとして起訴された。

【設問】 上の事例に存在する憲法上の問題について論ぜよ。上の文章に明記されていない事実が解答上必要だと考える場合は、必要に応じて解答者が場合分けをして論述すること。